BEETHOVEN 200th ベートーヴェン没後200年プロジェクト

尾高忠明［指揮］
大阪フィルハーモニー交響楽団

ベートーヴェン
Ludwig van Beethoven

交響曲第5番 運命
Symphony No.5 in C minor, op. 67

交響曲第6番 田園
Symphony No.6 in F major, op. 68



2027
4/29（木・祝）3:00PM 開演（2:15PM 開場）

兵庫県立芸術文化センター KOBELCO大ホール
〒663-8204 兵庫県西宮市高松町2-22 阪急西宮北口駅南改札口スグ／JR西宮駅より徒歩15分（阪急バス7分）

A 6,000円 B 4,500円 C 3,000円 D 2,000円（全席指定／消費税込）

ご予約・お問合せ 芸術文化センターチケットオフィス 0798-68-0255（10:00AM-5:00PM 月曜休み ※祝日の場合翌日）

一般発売 11/22（日）

チケット予約
- ●芸術文化センター 0798-68-0255 https://www.gcenter-hyogo.jp
- ●チケットぴあ https://pia.jp/t/ ●ローソンチケット https://l-tike.com ●イープラス https://eplus.jp

芸術文化センター会員先行予約受付開始 11/20（金）

大阪フィル・チケットセンター 発売日 11/24（火）／大阪フィル・チケットセンター 06-6656-4890

直接購入 芸術文化センター2階総合カウンター【11/23（月・祝）より、残席がある場合のみ】

兵庫県立芸術文化センター

関西から文化力 POWER OF CULTURE

※車いす席はお電話でのみ販売しております。※未就学児童はご入場いただけません。※プレイガイドでの取扱いについては、各プレイガイドにお問い合わせください。※やむを得ない事情により出演者、曲目が変更となる場合があります。予めご了承ください。

主催：兵庫県、兵庫県立芸術文化センター、公益社団法人大阪フィルハーモニー協会

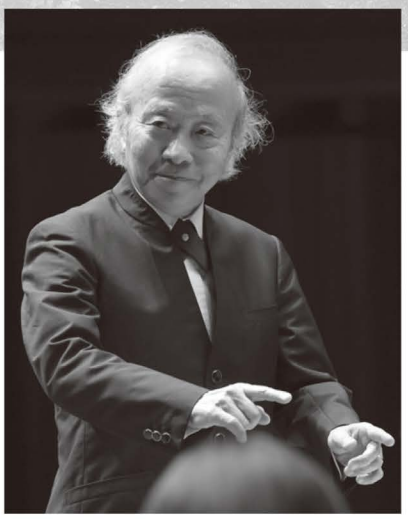
尾高＆大阪フィル
ベートーヴェン王道のプログラム

偉大なる楽聖が永遠の眠りについて200年。兵庫県立芸術文化センターでは2027年3月から「ベートーヴェン・プロジェクト」が始動する。4月に登場するのは、尾高忠明率いる大阪フィルハーモニー交響楽団。この名コンビのベートーヴェンは聴かずにはおけない。尾高が大阪フィルの音楽監督に就任して直ぐに取り組んだのは『ベートーヴェン・ツィクルス』。自らと大阪フィルの音楽づくりの出発点となった交響曲。8年後、再び全曲公演を実施し、両者の強い絆を感じる情熱的で堂々たる演奏は、高い評価を得た。

今回、芸術文化センターで初披露するベートーヴェンの交響曲は、第5番「運命」、そして第6番「田園」。尾高と大阪フィルの誇りと自信がうかがえる、王道のプログラム。

ベートーヴェンの代名詞ともいえる強烈な4つの音『運命の動機』で始まるあまりにも有名な交響曲と、ベートーヴェンがこよなく愛したウィーン郊外の町ハイリゲンシュタットで作曲された自然の息吹に満ち溢れた美しい交響曲。生涯において傑作が多く生み出された“傑作の森”と呼ばれる中期10年の間に書かれた、この性格の異なる2大交響曲は、ほぼ同時期に作曲され、同日に初演された。同一時期に正反対に近い作品を度々書いたと言われるベートーヴェン。私生活においても、音楽家としての栄光の裏では、致命的な耳の病に苦しめられ絶望の淵にいた。数々の試練が降りかかり、死の覚悟の果てに見出したのは、運命を切り拓く不屈の魂。

魂で作られた音楽に向き合い続けた名コンビが贈る「運命」と「田園」。1808年アン・デア・ウィーン劇場の初演当時と同じく、この2曲を同時に、尾高と大阪フィルの演奏で味わえる贅沢な公演、是非ともご期待いただきたい。
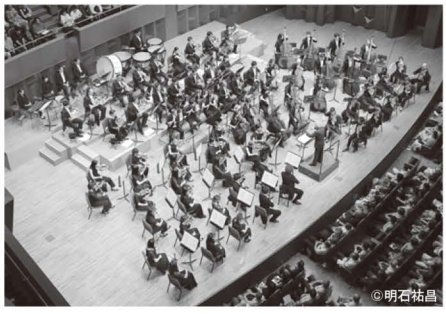


尾高忠明（指揮） TADAAKI OTAKA, Conductor

1947年生まれ。国内主要オーケストラへの定期的な客演に加え、ロンドン交響楽団、ベルリン放送交響楽団等、世界各地のオーケストラへ客演。これまで1991年度サントリー音楽賞受賞。1993年ウェールズ音楽演劇大学より名誉会員の称号、ウェールズ大学より名誉博士号、1997年英国エリザベス女王より大英勲章CBEを、さらに1999年には英国エルガー協会より日本人初のエルガー・メダルを授与されている。その他、2012年有馬賞（NHK交響楽団）、2014年北海道文化賞、2018年度関西音楽クリティック・クラブ賞本賞、大阪文化祭賞、日本放送協会放送文化賞、2019年JXTG音楽賞洋楽部門本賞を受賞。2021年旭日小綬章を受章、同年12月大阪市民表彰を受賞。現在、大阪フィル音楽監督の他、NHK交響楽団正指揮者、札幌交響楽団桂冠指揮者、東京フィルハーモニー交響楽団桂冠指揮者、読売日本交響楽団名誉客演指揮者、紀尾井ホール室内管弦楽団桂冠名誉指揮者。BBCウェールズ・ナショナル管弦楽団にて1987～95年まで音楽監督をつとめたのち、2025年まで桂冠指揮者を務めた。また2010年～14年まで新国立劇場オペラ芸術監督を務めた。2021年に「東京国際指揮者コンクール」の審査委員長に就任。後進の指導にも力を入れ、東京藝術大学名誉教授、相愛大学、京都市立芸術大学客員教授、国立音楽大学招聘教授、桐朋学園大学特命教授を務めている。日本芸術院会員。

大阪フィルハーモニー交響楽団 OSAKA PHILHARMONIC ORCHESTRA

1947年朝比奈隆を中心に「関西交響楽団」という名称で創立、1960年改称。創立から2001年までの55年に亘り朝比奈隆が音楽総監督・常任指揮者を務めた。大植英次音楽監督時代には「星空コンサート」「大阪クラシック」といった大型プロジェクトで注目を集め、2014～2016シーズンは井上道義を首席指揮者に迎え、「ショスタコーヴィチ／交響曲第4番」「交響曲第7番」「交響曲第11番」の録音で高い評価を得た。2018年4月、尾高忠明が音楽監督に就任。現在、フェスティバルホール（大阪・中之島）を中心に全国各地で演奏活動を展開している。2024年4月より、クラリネット奏者のダニエル・オッテンザマーがアーティスト・イン・レジデンスに就任。2025年4月より、松本宗利音（まつもとしゅうりひと）が指揮者に就任。2017年度文化庁芸術祭・優秀賞受賞。2017・2018年度関西音楽クリティック・クラブ賞本賞、大阪文化祭賞を2年連続で受賞。2027年、創立80周年を迎える。



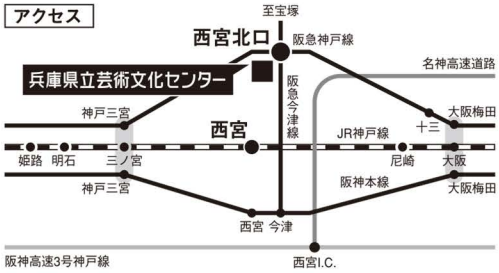
2027年 没後200年 春のベートーヴェン・プロジェクト

BEETHOVEN 200th ベートーヴェン没後200年プロジェクト

テレマン室内オーケストラ 交響曲第1番	小 3/26(金)	11月発売
仲道郁代（ピアノ）「ハンマークラヴィーア」	大 5/23(日)	12月発売
Early Music Series 古楽の愉しみ ジョルディ・サヴァール指揮 ル・コンセール・デ・ナシオン 古楽器で聴く「運命」＆「英雄」	大 6/5(土)	11月発売

大 KOBELCO大ホール　小 神戸女学院小ホール

アクセス



◎阪急 西宮北口駅 南改札口 スグ（連絡デッキで直結）
◎JR 西宮駅より徒歩15分（阪急バス7分）
※ご来場は、電車・バスなどの公共交通機関をご利用ください。